

安全確認しっかりと

春の交通安全運動の一環として交通安全教室が4月16日から5月7日までの間の5日間、村内の小中学校と普代児童館で開かれました。

このうち4月16日に開かれた普代小学校（日沢栄子校長、児童96人）の同教室では、1・2年生30人が普代郵便局前で横断歩道の渡り方を、3～6年生66人は同校校庭で自転車の正しい乗り方をそれぞれ学習しました。（写真）村交通指導員の駒木清一隊長は「自転車も歩行者も、前後左右の安全確認が大切。自転車に慣れていない子もいるので、ドライバーのも路上では気を付けてほしいです」と注意を促していました。



年金、気軽に相談を

宮古社会保険事務所の国民年金保険料の臨時納付窓口が4月25日、自然休養村管理センターで開かれ、約16人が相談に訪れました。窓口の対応には同事務所の職員2人が当たり、この日は主に「ねんきん特別便」の相談を受け丁寧に応じていました。（写真）同事務所の宇田大介事務官は「2、3カ月に1度開設していますので、皆さん気軽に相談ください」と呼び掛けていました。次回は6月末ごろを予定しています。

北緯40度

そぞろある記



緑の村に歓声響く

ゴールデンウィーク恒例の「緑の村こどもまつり（実行委、村など主催）」が5月4、5の両日、鳥居地区のうねとり山荘周辺で行われました。

2日間ともあいにくの曇り空でしたが会場には村内外から約2,000人が来場。綿あめやドーナツを食べ



ながら、金魚すくいやエアートランポリン、ローラーコースターなどを楽しむ子どもたちの歓声が響いていました。4日の午前11時30分から行われたじゃんけん大会では、子どもたちが元気にチャレンジ。（写真）「じゃんけん、ぽん！」と声を出し、勝負の行方に一喜一憂していました。

「車に気を付けて！」

交通安全街頭指導は春の交通安全期間中の4月10日、村内6カ所で行われました。

街頭指導には村交通安全対策協議会（会長・深渡宏村長）や岩手県久慈地区交通安全協会普代分会（太田岩蔵会長）、村交通指導員、交通安全母の会、シルバー部会会員ら約30人が参加。普代郵便局付近では小雨の降る中、通学途中の小学生らに「車に気を付けて」と声を掛けながら、黄色い羽を胸に付け、ポケットティッシュや夜光反射材を配り、（写真）交通安全を呼び掛けていました。



育てたサケ稚魚放流



サケを飼育して25年になる黒崎小（小山田厚校長、児童13人）の5、6年生5人が4月16日、自分たちで育てた稚魚を普代川河口から放流（写真）しました。児童たちは昨年12月、一匹の雌から採卵受精させ、この日のために教室に置いた水槽で約4カ月間大切に育ててきました。放流会では4秒ほどに育った稚魚約80匹と、村漁協から約4千匹を分けてもらい、「また、帰ってこいよ」と優しく放流し、名残惜しそうに姿を追っていました。

村社会福祉協議会では村内のお年寄りや身体の不自由な方、一時的な病気・けがをされた方に無料で車いすを貸し出します。

▼貸出期間…1週間以内
▼手続き方法…村社会福祉協議会事務局（自然休養村管理センター内）に備え付けの申込書に必要事項を記入し申し込んでください。

▼その他…車いすの運搬はいたしませんのでご了承ください。

▼申し込み・問い合わせ先…村社会福祉協議会（☎35-2100）



車いす無料で貸し出します

三鉄プレ25周年企画第1弾!! 平庭高原つつじまつりと闘牛大会

三鉄宮古駅（8:05発）→平庭高原つつじまつり（自由見学）→闘牛大会（チケット付）→伝統郷土料理「まめぶ」の屋敷→道の駅久慈「やませ風土館」（ショッピング）→三鉄宮古駅（17:37着）

▶日時…6月15日(日)▶募集人員…40人▶参加費…大人4,500円、小人4,000円▶申し込み締切…6月9日(月)▶申込・問い合わせ先…三陸鉄道（☎0193-62-8900）

チーズ好きの人には
たまらないおいしさ

チーズスティック

1個 160円(税込み)



中央区 三船製菓 ☎35-2020